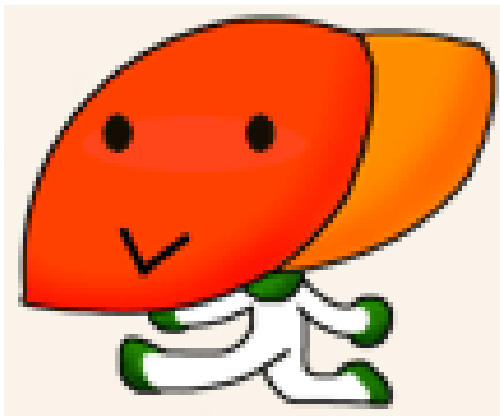


# 肝疾患とかゆみについて



かゆみは

「掻きたい」という

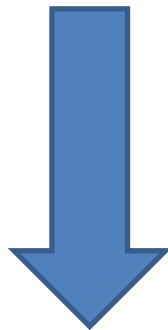
欲求を

生じる感覚

# かゆみのしくみ

- どうしてかゆくなるんだろう？
- なぜ、掻いちゃダメ、なんだろう？

皮膚の果たす役割と、  
かゆみ—掻破（皮膚を引っ掻く）の  
悪循環についてみてみましょう



# かゆみのメカニズム

- かゆみが起きる詳しいメカニズムはまだ分かっていません

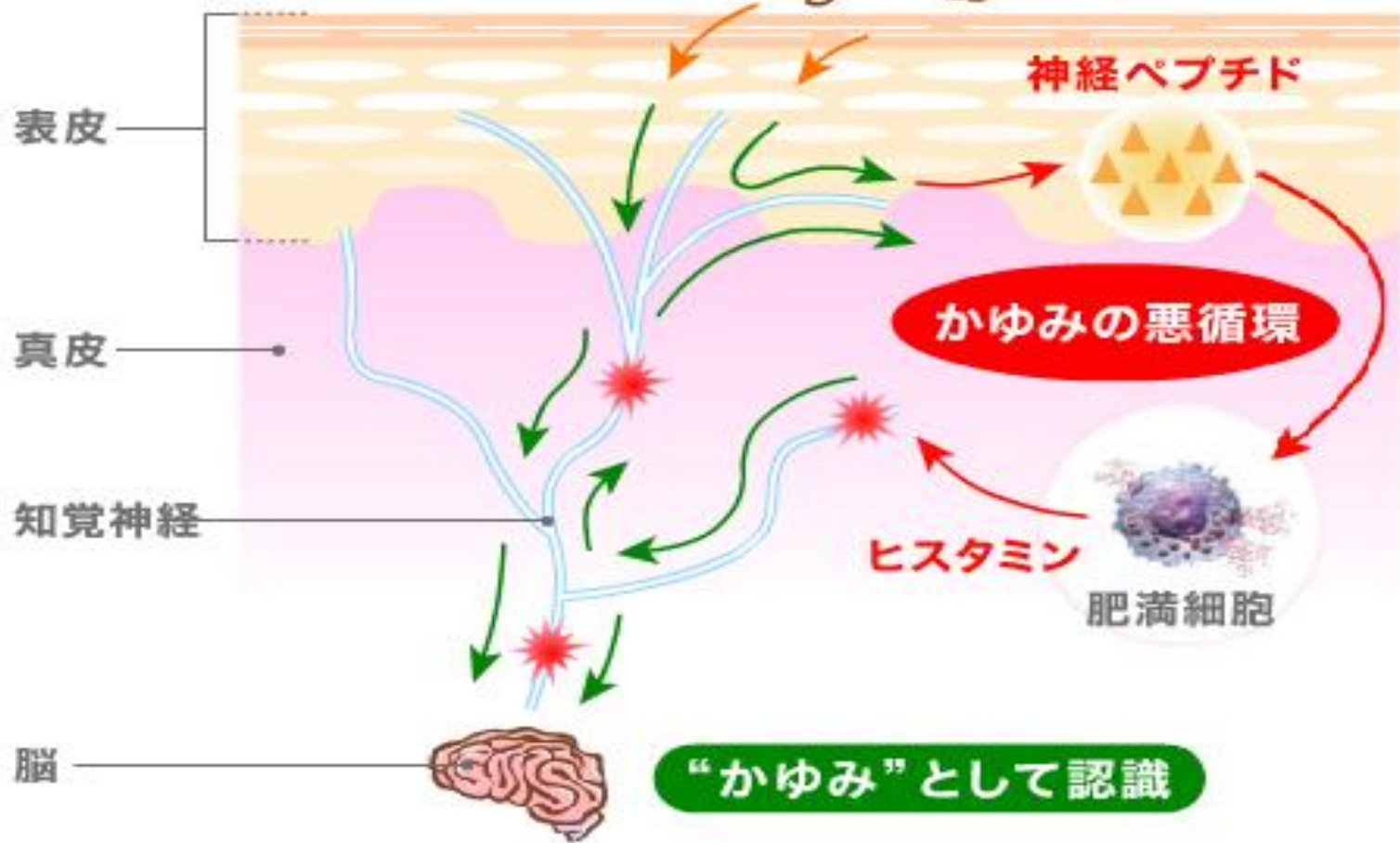
皮膚に存在する肥満細胞と呼ばれる細胞から分泌されるヒスタミンがかゆみを引き起こす重要な役割を果たすことが知られている

「かゆいから掻く」といった刺激は、皮膚が敏感な方の知覚神経を刺激し、神経ペプチドを放出させ、さらにかゆみ物質ヒスタミンの分泌を促している

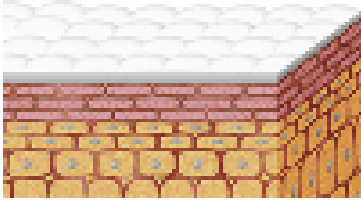
掻くと

どんどんかゆみが広がっていくという現象がみられると考えられる

掻く

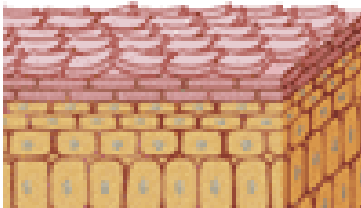


# 皮膚の乾燥(ドライスキン)も 原因のひとつ



## 正常な皮膚

水分と皮脂によるバリア機能が保たれた状態



## ドライスキン

皮膚の表面から水分・皮脂が失われた状態

## 正常な皮膚の表皮は、

水分と油分(皮脂)によって外部から異物が侵入するのを防ぐバリア機能を果たしている

ドライスキンでは、皮膚の表面から水分や油分が失われ、外からの刺激に無防備な状態になっている  
つまり、ちょっとした刺激に対しても敏感に反応し、かゆみをもたらす

# かゆみの対策

- 皮膚の状態に応じた適切な治療によって、かゆみはある程度コントロールすることができる
- かゆみの治療
  - 『スキンケア』
  - 『セルフケア(日常生活の注意)』
  - 『薬物療法』



# スキンケア



- スキンケアとは、皮膚を健康に保つようにつとめること
- 皮膚を清潔にし、乾燥を防いでうるおいを保ち、外的な刺激を避けることが大切





# 皮膚を清潔に



- 皮膚の表面についた汚れは、きちんと洗い流すことが大切です
- 皮膚の汚れは、皮脂膜にも入り込んでいるので、石鹸などを用いることをおすすめします

## 【気をつけること】

石鹸などを用いる場合には、低刺激のものを少ない量でしっかり泡立てて使うこと、からだに石鹸の成分が残らないように十分にすすぐようにしましょう

やさしく洗う、こすりすぎない、  
石鹸を使いすぎない、石鹸を残さない

# 乾燥を防いで、うるおいを保つ

皮膚の乾燥を防ぐため、  
入浴後のカサカサ肌には刺激の少ない**保湿剤**でうるおいを与えてあげましょう

保湿剤は、**1日に1回から2回**

とくに入浴後には皮膚が乾燥してしまう前に塗りましょう  
カサカサした部分に薄い皮膜でうるおいを与えるように、

**手のひらで全体に伸ばすように塗るのがコツ**



## 外的な刺激を避けましょう

外的な刺激とは、  
汗、つめで皮膚を引っ掻く、  
衣類、毛髪、化粧品など様々なもの

# セルフケア



適度な温度・湿度を心がけて

エアコンなどの空調機器による乾燥は皮膚の大敵。適度な温度・湿度を保ちましょう

食生活に注意

身体があたたまるとかゆみが出やすくなります  
香辛料や辛い食べ物、アルコールなどは、汗や皮膚のほてり感をもたらし、  
かゆみが強くなることがあるので、注意しましょう



つめのお手入れをきちんと

つめが伸びていたり、とがっていると、皮膚を掻いたときにキズつけてしまうことがあります  
つめ切りやヤスリを使ってお手入れをしましょう

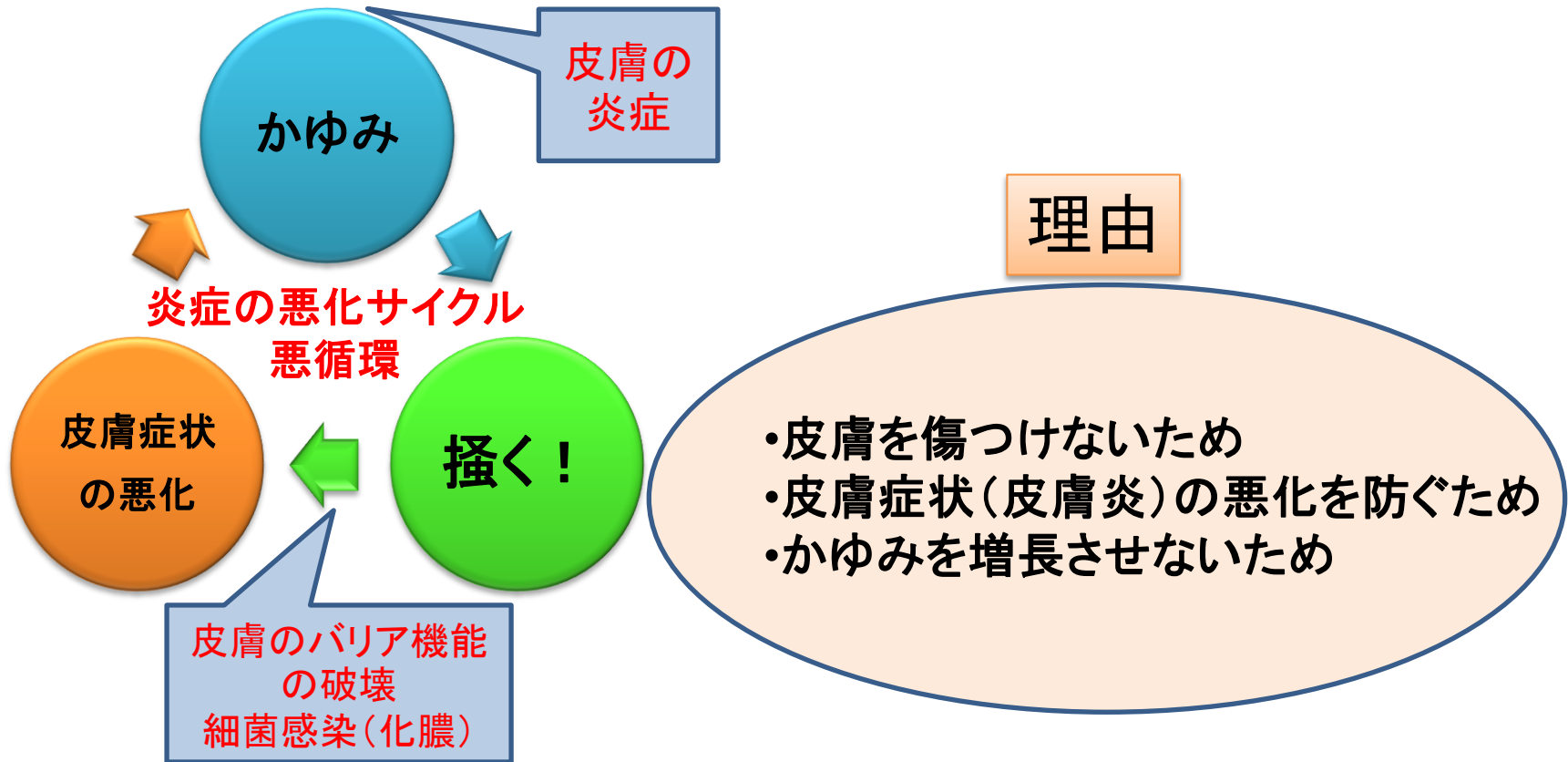
# 「掻いちゃダメ」の理由

“かゆいから、掻く” -- 誰にでも経験ありますよね。

掻いている時は一時的に気持ちがいいかもしれませんが、決してかゆみがおさまるわけではありません

“掻くこと”は、

皮膚を傷つけるだけでなく、かゆみ自身も増長させてしまい悪循環を引き起こしてしまう  
掻かないだけで、皮膚症状がかなりよくなることもある





# 肝疾患と皮膚症状



# 肝疾患と皮膚症状はなぜ起こる？

肝臓は、

具体的にはビリルビン、胆汁酸、脂質、血清蛋白、ホルモンなど多くの体内物質の合成、代謝を担う臓器です

その障害はこれらの物質の代謝異常として系統的にその症状を発現してきます

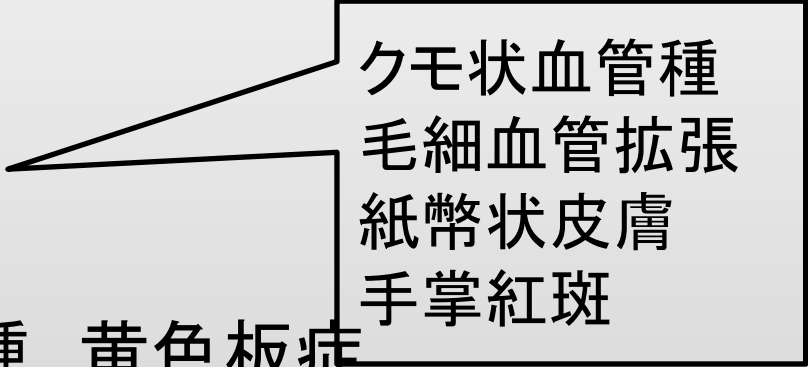
肝臓の障害の程度はおおむねその代謝障害の程度に反映され、皮膚症状を含めた臨床症状に反映されてきます



肝臓が代謝するさまざまな物質が、機能低下により過剰、或いは不足する場合に皮膚に症状が見られてきます

# 肝疾患に共通する皮膚症状

- 黄疸
- 皮膚掻痒症
- 血管性病変
- 女性型乳房
- 続発性黄色腫、黄色板症
- 紫斑
- 腹壁動静脈緊張
- 色素沈着
- 晩発性皮膚ポルフィリン症
- 肝細胞癌の皮膚転移
- *Vibrio vulnificus* 感染症



クモ状血管種  
毛細血管拡張  
紙幣状皮膚  
手掌紅斑

# ウイルス性肝炎に伴う皮膚症状

B型肝炎	C型肝炎
<ul style="list-style-type: none"><li>血清病様症状 (serum sickness-like syndrome)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>扁平苔癬</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>ジアンノッティ病</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>晩発性皮膚ポルフィリン症</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>血管炎、 クリオグロブリン血症</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>シェーグレン症候群</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>血管炎、 クリオグロブリン血症</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>悪性リンパ腫</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>尋常性白斑</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>乾癬</li></ul>



# かゆみの分類

臨床分類	疾患	治療
皮膚疾患によるかゆみ	炎症性皮膚疾患 ドライスキン	抗ヒスタミン薬 抗炎症薬 免疫抑制薬
全身疾患によるかゆみ	慢性肝障害 慢性腎障害	μ-オピオイド拮抗薬 κ-オピオイド作動薬
神経原性のかゆみ	帯状疱疹後のかゆみ	カプサイシン ガバペンチン
精神的なかゆみ	寄生虫妄想 うつ	SSRI 抗うつ薬
混合したかゆみ		中枢性止痒薬 抗炎症薬

# 肝・胆道系疾患によるかゆみの 発症機序と治療法

発症機序	治療法
① 胆汁酸塩の皮膚への蓄積	血漿交換
② 胆汁酸塩の濃縮により破壊された肝細胞膜からの起痒物質の遊離	肝細胞の胆汁酸濃縮の抑制： リファンピシン、ウルソデスオキシコール酸
③ 腸管内での胆汁酸代謝産物による起痒物質の産生	胆汁酸キレート剤： コレスチラミン
④ ヒスタミン遊離の亢進	ヒスタミンH <sub>1</sub> 受容体拮抗薬： テルフェナジン、ヒドロキシジン オピオイド受容体拮抗薬： ナロキソン、ナルメフェン
⑤ 内因性オピオイドの増加	セロトニン5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗薬： オンダンセロトロン
⑥ セロトニンの関与	光線療法 (PUVA、UVB単独照射) 蛋白同化ステロイド剤： スタノゾール
⑦ 機序不明	

# 肝疾患とかゆみ

- かゆみの部位は、手足・胴体(頸部・陰部はまれ)
- かゆみのしくみは不明な面が多い
- 黄疸に先行してかゆみが生じることから、胆汁酸が原因でないかと考えられてきた
- ヒスタミンが伝達物質でないかと考えられている

# 症状を早く治すためには、

かゆみは、炎症が起きている間は続く

以下の2つがポイント

- ・原因を取り除くこと
- ・搔かない(新たな刺激を与えない)こと

つまり、炎症の悪化サイクルを断ち切ることが、症状を早く治す近道といえます

# 皮膚症状がでたら…

- まず、主治医に相談しましょう
- 飲み薬や塗り薬がでたら、飲み方や塗り方を決められた通りに使しましょう
- 悩んだときや不安なときは、自分で判断せず、主治医に相談しましょう

- 文献

Visual Dermatology Vol.6 VOL.11

- 皮膚のトラブルの基礎知識 改変

<http://www.hifunokoto.jp/knowledge/index.html>

- かゆみナビ 改変

<http://www.kyowa-kirin.co.jp/kayumi/>